

研究所彙報

一 二〇一五年度研究所・所員リスト

准教授 市野澤 潤 平 (文化人類学)

教授 今 林 直 樹 (社会学・政治学)

教授 菊 池 勇 夫 (日本近世史)

准教授 木 村 春 美 (第二言語習得・英語教育)

教授 九 里 順 子 (日本近代文学)

准教授 間 瀬 幸 江 (フランス文学・演劇)

教授 松 浦 光 和 (心理学)

教授 森 雅 彦 (西洋美術史)

教授 J. F. モリス (日本文化論)

教授 大 平 聡 (日本古代史)

教授 新 免 貢 (宗教学)

准教授 杉 井 信 (社会人類学)

教授 高 田 紀代志 (科学史・科学論)

- 教授 田中一裕 (生態学)
- 教授 土屋 純 (地理学)
- 教授 豊澤弘伸 (国語教育)
- 教授 八木祐子 (文化人類学)
- 教授 吉村典子 (西洋建築デザイン史)
- 客員 阿部 隆 (宮城学院女子大学名誉教授・人文地理学)
- 客員 今高義也 (宮城学院中学校・高等学校教諭・日本思想史)
- 客員 井上研一郎 (宮城学院女子大学名誉教授・近世美術史)
- 客員 岩川 亮 (元宮城学院女子大学准教授・フランス語学・文学)
- 客員 遠藤みどり (日本学術振興会特別研究員・日本古代史)
- 客員 犬飼公之 (宮城学院女子大学名誉教授・古代文学)
- 客員 大石泰夫 (盛岡大学教授・日本古代文学)
- 客員 大迫章史 (仙台白百合女子大学准教授・近代日本高等教育史・近代日本教育制度史・教育行政学)
- 客員 木曾恵子 (東北学院大学および宮城学院女子大学非常勤講師・文化人類学・タイ地域研究・ジエングダー研究)
- 客員 後藤純子 (元大阪市立大学文学部助教授・インド学・宗教学)

客員 研究員	後藤久太郎（宮城学院女子大学名誉教授・建築史）
客員 研究員	佐々木民夫（岩手県立大学教授・日本文学）
客員 研究員	妹尾哲志（専修大学法学部准教授・政治史）
客員 研究員	富永智津子（元宮城学院女子大学教授・東アフリカ・インド洋地域近現代史）
客員 研究員	豊山亜希（国立民族学博物館〔現代インド地域研究拠点〕拠点研究員・南アジア美術史）
客員 研究員	中村忠生（兵庫県立錦城高等学校教諭・教育心理学）
客員 研究員	早坂優子（多賀城市教育委員会事務局文化財課調査普及係・民俗学）
客員 研究員	丸山仁（宮城学院中学校・高等学校教諭・日本中世史）

## 二 共同研究について

本年度の共同研究のテーマは次の通りである。

「南島における民族と宗教」

「多民族社会における宗教と文化」

「キリスト教文化の受容と変容」

「家族文化の総合的研究」

共同研究の成果として、次の冊子が刊行された。

『沖繩研究ノート』25

『多民族社会における宗教と文化』No.19

三 二〇一五年度研究所活動報告

公開公演

二〇一五年一〇月一〇日(土) 午後二時より(≪本学音楽館ハンセン記念ホール≫)

「八重山諸島の芸能に触れる―琉球大学八重山芸能研究会による公演―」

共催 本学音楽学会・国際文化学会・本学生涯学習センター

〈共同研究「南島における民族と宗教」主催〉

公開研究会

二〇一五年一月一九日(木) 午後五時一〇分より午後六時三〇分(≪本学人文館五階A五四九大会議室≫)

「都市部の墓から見る現代沖縄―「壺園型墓地」とその利用者―」

報告者 早坂優子(多賀城市教育委員会事務局文化財課調査普及係)

〈共同研究「多民族社会における宗教と文化」主催〉

公開研究会

二〇一五年九月三〇日(水) 午後五時一〇分より午後六時三〇分(≪本学人文館五階A五四九大会議室≫)

「人を描き 人と生きる―「ステンドグラス」という選択―ガブリエル・ロワールとは何者か」

報告者 間瀬幸江(本学一般教育科准教授)

二〇一六年二月六日（土）午後一時より午後五時（Ⅱ本学人文館五階A五四九大会議室）

「ケニア・ルオ村落における女性たちのネットワーク」

報告者 椎 野 若 菜（東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所准教授）

「家内を越える女性の共同性―東北タイ農村における住民組織の事例から―」

報告者 木 曾 恵 子（本学非常勤講師、本研究所客員研究員）

四 所員消息（二〇一五年四月―二〇一六年三月）

市野澤 潤 平 准教授

海外研修（タイ、二〇一五年四月～二〇一六年三月）

今 林 直 樹 教授

研究ノート「先島諸島の地理・民俗・歴史―宮古諸島と八重山諸島―」（『宮城学院女子大学研究論文集』一二〇号、二〇一五年六月）

大 平 聡 教授

講演録「吉野盟約の意味―持統篡奪王権への疑問―」（『キリスト教文化研究所研究年報』第四八号 二〇一五年

三月三十一日 宮城学院女子大学附属キリスト教文化研究所 31～43頁

講演等

「戦後70周年を迎えて―小学校の日誌から見る戦争の時代―」（二〇一五年四月一日 記念講演 主催者

くらしと民主主義、史跡・緑を守る多賀城懇話会 会場 多賀城市市民活動サポートセンター

「世界遺産平泉―歴史研究者の立場から―」二〇一五年六月二七日「平泉世界遺産の日」シンポジウム『平泉―文化としての環境』シンポジウムパネラーとして問題提起 主催 岩手県南広域振興局経営企画部観

光労働商業課 会場 中尊寺本堂

「学校の資料を保存し生かす―宮城県での調査・保存活動の経験から―」二〇一五年六月二八日 歴史教育者協議会第六七回大会準備報告 主催者 宮城県歴史教育者協議会 会場 茂庭荘

「小学校の日記からたどるアジア・太平洋戦争期の登米市」二〇一五年七月二六日 特別展講演会 主催者

登米市歴史博物館 会場 亘理家住宅

「気仙沼・本吉地域の学校資料―県内有数の学校資料群の保存と活用に向けて―」二〇一五年八月六日 研修会講演 主催者 気仙沼・本吉地方文化財保護委員連絡協議会 会場 リアス・アーク美術館

「学校の資料を保存し生かす―宮城県での調査・保存活動の経験から―」二〇一五年八月一〇日 歴史教育者協議会第六七回大会 主催者 一般社団法人歴史教育者協議会 会場 東北学院大学土樋キャンパス

「『学校日誌』からみたアジア・太平洋戦争―昭和の子どもたちと小学校―」二〇一五年九月五日 芳賀町総合情報館講座「戦後70年を考える」 主催者 芳賀町総合情報館 会場 芳賀町総合情報館

「学校資料の保存と活用」二〇一五年一〇月七日 全国研究会講演会 主催者 全国大学史資料協議会 会場 東北大学片平さくらホール

「学校日誌にたどる昭和の気仙沼（戦前編）」二〇一五年一〇月二四日 第一回けせんぬま学講座 主催者

気仙沼市文化遺産活用検討実行委員会 会場 気仙沼市市民会館

「国指定史跡 鳥海柵跡シンポジウム」コーディネート 二〇一六年二月一三日 主催者 金ヶ崎町教育委

員会 会場 金ヶ崎町中央生涯教育センター

調査等

宮城教育大学附属小学校

四月 九日 資料調査説明、提案、受諾される

四月一六日 第一回資料調査・保全作業

五月 一日 第二回資料調査・保全作業

五月 七日 第三回資料調査・保全作業

五月二八日 第四回資料調査・保全作業

二〇一六年二月二二日 第五回資料調査

村田町

五月二六日 村田歴史みらい館第一回資料調査（村田第一小学校旧蔵資料）

六月 二日 村田歴史みらい館第二回資料調査（村田第一小学校旧蔵資料）

登米市

六月 四日 登米市立中津山小学校資料調査

六月一〇日 登米市立米山東小学校資料調査

白石市

六月二六日 白石市立越河小学校・齋川小学校・大平小学校・南中学校・白石第一小学校・白川小学校資料所在確認調査

六月三〇日 白石市立白川小学校第一回資料調査

七月 三日 白石市立白川小学校（第二回）・白石第一小学校・大平小学校資料調査・保全作業

七月一〇日 白石市立深谷小学校・福岡小学校・白石第二小学校・大鷹沢小学校資料所在確認調査、白石市立小原小学校資料調査

七月三〇日 白石市立深谷小学校・福岡小学校資料調査・保全作業

七月三一日 白石市立大鷹沢小学校・白石第二小学校資料調査

川崎町

八月 三日 川崎町立川崎小学校、旧本砂金小学校資料調査

九月二五日 川崎町立川崎第二小学校・富岡小学校日誌調査

気仙沼市

九月一〇日 気仙沼市立松岩小学校日誌調査

九月一日 気仙沼市立大島小学校伊達政宗像調査

一〇月 二日 気仙沼市立津谷小学校日誌調査

一〇月 八日 気仙沼市立津谷小学校・松岩小学校資料補充調査



一二月 三日～四日 気仙沼市立気仙沼小学校資料整理作業指導

一二月 一日 気仙沼市立気仙沼小学校資料整理作業指導

二〇一六年一月七日～八日 気仙沼市立気仙沼小学校資料整理作業指導

二月 二五日 気仙沼市立気仙沼小学校資料整理作業指導

三月 八日～九日 気仙沼市立気仙沼小学校資料整理作業指導

#### 涌谷町

一二月 二七日 涌谷町立月将館小学校資料補充調査

#### 展覧会（展示制作・資料提供）

市制施行10周年・戦後70周年企画展「戦争とくらし」展 二〇一五年六月二七日～八月三〇日 登米市歴史

博物館 資料提供

「学校日誌に記された仙台空襲」二〇一五年七月三日～七月一二日「戦災復興展」のコーナー展示 主催・

会場 仙台市戦災復興記念館

「七〇年前、気仙沼でも戦争が終わった―学校資料から知ることのくらし―」二〇一五年八月六日～八月

一五日 作製・展示 共催 気仙沼市教育委員会 会場 リアス・アーク美術館

菊池 勇夫 教授

著書『五稜郭の戦い』（吉川弘文館、二〇一五年九月）

論文「近世史料にみる居久根（イグネ）の諸相」（『平成二六年度骨寺村荘園遺跡村落調査研究報告書』一関市博

物館、二〇一五年三月)

論文「越境する飢人と領主的対応―天保四・五年の秋田藩と弘前藩の場合―」(『キリスト教文化研究所研究年報』第四九号、二〇一六年三月)

講義録「近世の飢饉・災害について考える―東北地方(八戸藩)の天明の飢饉を中心に―」(花部英雄・松本孝

三編『語りの講座 伝承の創造力―災害と事故からの学び』三弥井書店、二〇一五年五月)

書評「檜皮瑞樹『仁政イデオロギーとアイヌ統治』を読んで」(『人民の歴史学』第二〇五号、東京歴史科学研究会、二〇一五年九月)

エッセイ「榎本旧幕府軍の箱館支配」(『本郷』第一二〇号、吉川弘文館、二〇一五年一月)

講演「真澄から近世史を探る―湯浴みする人々―」(新春菅江真澄講演会、菅江真澄研究会主催、協働大町ビル、二〇一六年一月九日)

報告「17・18世紀の本寺山谷地域―村落社会の変容を中心に―」(第1回村落調査研究会、一関市博物館、二〇一五年八月一八日)

報告「場所経営における煙草の機能―ヨイチ場所を例に―」(公開シンポジウム「北海道・東北を中心とする北方交易圏の理論的枠組み構築のための総合的研究」二〇一三〜一五年度科研費・研究代表者百瀬響、余市町教育委員会主催、余市中央公民館、二〇一五年一月二十九日)

報告「東北の飢饉史が伝えること―社会論を中心に―」(日本村落研究学会東北地区研究例会、東北学院サテライトステーション、二〇一五年二月二二日)

報告「一八世紀前期の村社会の変容―享保の本寺・山谷人数改帳を読む」(平成二七年度骨寺村荘園遺跡村落調査報告会、一関図書館、二〇一六年二月二一日)

講義「江戸時代の飢饉」(公民館教室・歴史教室、利府町公民館、二〇一五年九月七日)

講義「社会」の歴史的意義―近世後期〜近代初期を中心に―(安藤昌益と千住宿の関係を調べる会・公開講座、二〇一五年十一月二三日、東京芸術センター九階第一会議室)

木村 春美 准教授

論文 “Students’ perception of (in) civility toward groupmates”, In G. Gitsaki & T. Alexiou (Eds.), *Current issues in second/foreign language teaching and teacher education: Research and practice*, (Newcastle upon Tyne, UK: Cambridge Scholars Press, 228-245, 2015)

研究ノート “A cooperative approach toward reading aloud in L2 classrooms”, (*Bulletin of Miyagi Gakuin Women’s University*, 120: 17-36, 2015)

学会発表 “When my peers are not nice to me...: Classroom (In) civility”, International Association for the Studies of Cooperation in Education, University College Lillebaelt (Denmark) (二〇一五年一〇月二三日)

学会発表 “What is L2 intolerance of ambiguity like?” Tohoku ELT Expo (Sendai) (二〇一五年十一月六日)

九里 順子 教授

論文「室生犀星、芭蕉受容と句作」(『日本文学ノート』五〇号、二〇一五年七月)

評論「林火、「俳句といふ短詩」(『鬘』五八号、二〇一六年二月)

書評「打田峨しゅん 句集『光速樹』」(『鬘』五五号 二〇一五年五月)

書評「松本恭子 句集『花陰』／エッセイ『ちぎれそうなりんごの皮の夜祭り』」(『鬘』五七号 二〇一五年一

一月)

書評「ジョルジュ・バタイユ『エロティシズム』」(『鬘』五八号 二〇一六年二月)

時評「文学展示会時評「北杜夫―どくとるマンボウの生涯―」仙台文学館」(『鬘』五六号 二〇一五年八月)

俳句「九里だフロリダ」(『里』一四七号 二〇一五年六月)

随筆「しあわせ、それともかっこよさ」(『鬘』五五号 二〇一五年五月)

随筆「色硝子のムード・コーラス」(『鬘』五六号 二〇一五年八月)

随筆「リボン・ケーキ／蝶々結び」(『鬘』五七号 二〇一五年一月)

随筆「モダンの街角」(『鬘』五八号 二〇一六年二月)

随筆「食の泉」一四五―一五〇回(「白魚の目」「小鳥を食べる」「杏を思う」「都市のメロン」「ガラスのマカロ

ニ」「蟹の味」『河北新報』二〇一五年一〇月二〇日～二〇一五年一〇月二五日)

学会発表「『若菜集』、恋愛詩における果実」(第四二回島崎藤村学会全国大会 二〇一五年九月二六日 於仙台

ガーデンパレス)

新免 貢 教授

論文

「初期キリスト教における弟子像変遷の軌跡」(本学『キリスト教文化研究所研究年報四七号』二〇一六年三

月三十一日、一―五十一頁)

「大学教育現場からの嘆きと希望」(『日本脱カルト協会会報 二十一号』二〇一五年三月、十七―二十七頁)  
学会研究発表

「カマラ大司教の暴力論に関する再評価の試み」(日本宗教学会第七十四回学術大会、二〇一五年九月六日、  
創価大学)

「聖書と暴力——中絶医射殺事件を手がかりとして——」(日本基督教学会第六三回学術大会、二〇一五年九  
月十二日、桜美林大学)

講演

山形学院高等学校校内研修会講演「カタツムリの前進」(山形学院高等学校、二〇一五年十二月十六日)

講座(関西神学塾／政治・宗教思想研究会、日本基督教団西宮公会教会資料室)

「初期キリスト教における「読む」行為(一)」(二〇一五年二月二十日)

「初期キリスト教における「読む」行為(二)」(二〇一五年三月二十七日)

「イエスの「神の国」理解の一面断——『ルカによる福音書』十七章二十一―二十二節との関連で——」(二〇  
一五年六月二十二日)

「初期キリスト教における弟子像変遷の軌跡(一)」(二〇一五年十月十八日)

「初期キリスト教における弟子像変遷の軌跡(二)」(二〇一六年一月二十九日)

「宗教、暴力、そして『シビリティ』」(二〇一六年一月三十日)

調査

カルト諸団体の動向に関する資料収集（真宗教化センターしんらん交流館、二〇一六年二月十九日）

田中 一裕 教授

論文「Accumulation of glycerol and myo-inositol in the overwintering nymphs of the wolf spider *Pardosa astrigera*

(Araneae: Lycosidae)」(*Acta Arachnologica*, 二〇一五年八月)

論文「アクトグラフを用いたタマネギバエの自然条件下での歩行活動の記録—小学校理科教育での応用の可能性—」(荻屋大学論叢、二〇一五年八月)

講演「家の周りを観察しよう」いきいき学園石巻校(宮城県社会福祉協議会、東松島市コミュニティセンター  
(二〇一五年一月四日)

学会報告「化性の移行地帯(仙台市)におけるマダラスズ的生活史」日本応用動物昆虫学会、山形大学小白川キャンパス(二〇一五年三月二七日)

学会報告「自然条件下でのキイロシヨウジウバエの羽化時刻—温度周期の重要性—」日本応用動物昆虫学会、山形大学小白川キャンパス(二〇一五年三月二七日)

学会報告「温度較差がカイコの羽化時刻におよぼす影響」日本昆虫学会東北支部会、レイクサイドホテルみなとや(二〇一五年七月一五日)

学会報告「ゲジの歩行活動リズム」日本蜘蛛学会、京都女子大学(二〇一五年八月二二日)

学会報告「温度較差がカイコの羽化時刻におよぼす影響」日本昆虫学会、九州大学箱崎キャンパス(二〇一五年

九月二一日)

学会報告「土中で蛹化するタマネギバエの温度サイクルの日較差に応じた羽化時刻設定は位相後退反応によるものか」日本時間生物学会、東京大学本郷キャンパス(二〇一五年一月二一日)

八 木 祐 子 教授

論文「北インドの女神信仰にみる社会変容―身体と儀礼の関わりから」(『現代インド五 周縁からの声』、東京大学出版会、二〇三〜二二四頁、二〇一五年三月)

研究発表“Reconstruction of Family Life: Village Women's World in U.P.” (International Workshop, Hearing

Women's Voice: Senior Women's Recollection of Everyday Life in South Asia, 文部科学省基盤研究(B)

「生活世界の変容とジェンダー」、稲盛会館、京都、二〇一五年十一月四日〜五日)

研究報告「聖地ワラーナシーについて」(国立民族学博物館共同研究『聖地の政治経済学―ユーラシア地域大  
国における比較研究』研究会、宮城学院女子大学キリスト教文化研究所『多民族社会における宗教と文化』

研究会共催、東北大学川内南キャンパス文学部棟、二〇一五年六月十三日)

コラム「インドとカレー」「カレーと宮城学院」「手で味わうインド料理」「北インド農村のご飯」「ベジタリアン」  
「変わるインドの食文化」(『河北新報』、「食の泉」一三〜一八、二〇一五年五月一九〜二二日)

エッセイ「携帯電話 農村女性変える インド」(『読売新聞(関西版)』、二〇一五年九月  
二四日)

海外調査 北インド、ウッタル・プラデーシュ州アザムガル地区、二〇一五年二月一〇日〜二〇一五年二月二三

日、「生活世界の変容とジェンダー」に関する調査(文部科学省基盤研究(B)「生活世界の変容とジェンダー」北インド、ウツタル・プラデーシュ州アザムガル地区、二〇一五年九月五日～二〇一五年九月一七日、「北インドにおけるコミュニティの変化の諸相—ジェンダーと儀礼の関わりから—」に関する調査  
北インド、ウツタル・プラデーシュ州ワラーナシー・二〇一五年十二月二二～二〇一五年十二月三一日、「生活世界の変容とジェンダー」に関する調査及び打ち合わせ

吉村典子 教授

論文 Noriko Yoshimura, “Nineteenth Century Needlecraft Education in Britain: from Domestic Needlework to Modern Embroidery,” *Design Education before/after the Bauhaus*, The ACDHT, 2015.

吉村典子『『家』とは何か —イギリス十九世紀後半の『アーティスト・ハウス』—』(『宮城学院女子大学学芸学部英文学会誌』四十四号、二〇一六年三月)

報告書・吉村典子「工業資材とローカリティー —文化資源としての建築『テクスチュア』研究の可能性—」(『近代仙台研究会報告集』近代仙台研究会、二〇一六年一月)

学会口頭発表 Noriko Yoshimura, “Nineteenth Century Needlecraft Education in Britain: from Domestic Needlework to Modern Embroidery,” The Asian Conference of Design History and Theory, Osaka University (September, 2015)